

M7CL V3 Editor for Mac

主なアップデート内容

V3.6.0

主な変更点

- macOS 10.15, macOS 11 (Intel)に対応しました。
 - このバージョンは macOS 11 (Apple silicon)では動作しません。macOS 11 (Intel)でご使用ください。

既知の不具合

- Editor を再起動すると System Setup の Input port, Output port 設定が"N/A - UNIT1 Port1"となり、接続できない問題が見つかりました。暫定回避策として、起動時に再度 Input port, Output port 設定を"UNIT1 Port1"に再設定してください。

使用上の注意

- M7CL-48, M7CL-32 と Network-MIDI Driver V2.0.0 またはそれ以降の組み合わせで使用したときに、NETWORK セットアップで LINK MODE に 100BASE-TX を選択すると"The console does not respond"のメッセージが表示され接続できない場合があります。回避策として、LINK MODE を 10BASE-TX に設定してください。

V3.5.4-3

主な変更点

- macOS 10.14 に対応しました。

V3.5.4

修正した不具合

- Selected Channel ウィンドウの DYNAMICS で、KEY IN FILTER の Q の表示範囲が M7CL 本体と異なる不具合を修正しました。

V3.5.1

修正した不具合

- Output Port ウィンドウで、MONITOR OUT L/R/C チャンネルが割り当てられたポートのディレイタイムやディレイのオン/オフの設定が、実際とは異なって表示される不具合を修正しました。
- Output Port ウィンドウでディレイタイムを数字で直接入力した場合、アンドウできない不具合を修正しました。
- Main View としての Selected Channel ウィンドウで MATRIX チャンネルが選択されている場合、Additional View としての Selected Channel ウィンドウで Send Point を一括で設定できない不具合を修正しました。

V3.5.0

新機能

- ユーザー定義キーに割り当て可能な機能として、ALTERNATE FUNCTION を追加しました。
- M7CL 本体の OUTPUT PORT ポップアップウィンドウのように、出力ポートのディレイなどが設定できる OUTPUT PORT ウィンドウを追加しました。
- MIX ウィンドウや ST/MONO ウィンドウでも SENDS ON FADER を使用して MATRIX バスへのSENDを調整できる機能を追加しました。

- MIX バスおよび MATRIX バスに送る信号の送出位置を一括して PRE/POST に設定できる機能を追加しました。
- Selected Channel ウィンドウの TO MIX、TO MATRIX、FROM MIX、ST/MONO にチャンネル名を表示する機能を追加しました。
- CHANNEL LINK ページの LINK PARAMETER の選択肢に ATT を追加しました。
- Overview ウィンドウの EQ/DYN1/DYN2 をダブルクリックすることで Selected Channel ウィンドウが開くようになりました。
- PATCH LIST ページで出力ポートに指定されているすべてのパッチがポップアップメニューでわかるようにしました。
- チャンネル名にカーソルがあるとき、キーでカーソルが移動するようになりました。

改善点

- M7CL-48ES と同期(PC->CONSOLE)を行なうときに、STAGE BOX SETUP の設定を M7CL-48ES に送るかどうか選択できるようにしました。
- M7CL-48ES では、スロット 1 に挿入した Mini-YGDAI カード(MY16-ES64 など)を通じて SB168-ES などの外部ヘッドアンプを制御する EXTERNAL HA ページを Rack ウィンドウに追加しました。
- Rack ウィンドウの EXT-ES HA ページに VIEW 切り替えボタンを追加しました。
- PATCH LIST ページで出力ポートを複数選択できるようにしました。
- PEQ の Q のパラメーター値が 16 まで対応しました。

修正した不具合

- ユーザーレベル設定で操作が制限されているユーザーが M7CL にログインしているとき、M7CL V3 Editor と接続してオンラインにしても M7CL V3 Editor からの操作が制限されてしまう不具合を修正しました。